

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会県内調査報告書

令和3年4月14日（水）に、「新型コロナウイルス感染症対策」について調査を実施したところ、その概要は次のとおりでした。

神奈川県議会議長 嶋 村 ただし 殿

新型コロナウイルス感染症対策  
特別委員会

委員長 藤 代 ゆうや

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会  
県内調査報告書

令和3年4月14日（水）

## 1 調査の概要

- (1) 調査箇所 昭和大学横浜市北部病院（医療従事者等向けワクチン接種会場）
- (2) 出席委員 藤代委員長、作山副委員長、  
大村、高橋(延)、川崎、新堀、原、土井、市川(さ)、栄居、松本、  
佐々木(正)、近藤、さとう(知)、君嶋の各委員
- (3) 調査日 令和3年4月14日(水)

## 2 昭和大学横浜市北部病院

### (1) 調査目的

新型コロナウイルスワクチン接種については、優先的な接種の対象となる医療従事者等の接種が全国的に始まり、本県においても、準備が整い次第、実際の接種が開始されているところである。

今後、高齢者や基礎疾患がある県民向け接種、その他の県民向け接種が順次開始される予定であるが、コロナ禍における集団接種は、密を避ける配慮の必要性や、接種による副反応の懸念もあって言われている。

そこで、当病院において行われている医療従事者等向けワクチン接種の現場を調査することにより、今後の本県のワクチン接種の取組を含めた、新型コロナウイルス感染症対策に関する委員会調査の参考に資する。

### (2) 主な説明項目

ワクチン接種における県の主な役割は、ワクチン流通等地域の卸売業者との調整、市町村事務に係る国との連絡調整及びスケジュールの広域的な調整、医療従事者等への接種体制の調整、専門的な相談対応である。

県内の医療従事者等向けワクチンは2月15日の週から順次国から供給されている。今後、5月10日の週に全国の全ての対象者に2回接種可能な量が配送されるとされている。

県内医療機関へのワクチンは基本型接種施設、連携型接種施設の順で配送されることになるが、連携型接種施設については、まず、神奈川モデル認定医療機関で、新型コロナウイルス陽性患者受入病院のうち未接種施設、次に、発熱診療等医療機関や高齢者接種を予定している医療機関の優先順位で、県から配送していく予定である。

調査先の昭和大学横浜市北部病院について、接種は同時に2か所で行い、一日当たり最大80人の接種ができる体制である。接種の流れは、医師による問診、ワクチン接種、接種証明書の発行の後、接種者は15分または30分の待機を行う形となっている。

### (3) 主な質疑応答

**質 疑** 実際に接種するワクチンの個体を識別するロット番号のようなもの

- のは、一人一人に割り当てられているのか、それとも箱ごとか。
- 応 答 箱ごとである。接種を受けた人を管理する接種記録票には、受けた人、日付と併せてロット番号の入ったシールを添付して、どのロットのワクチンを接種したか分かるようにしている。接種は2回必要だが、1回目と2回目それぞれ同じように記録を残している。
- 質 疑 バイアルによって、一つによって5回分打てるものと、6回分打てるものがあると聞いている。今、接種されているのはどちらか。
- 応 答 当院では、接種開始当初はバイアル一つあたり5回分のものを扱っていたが、4月から打ち始めたものは6回分である。
- 質 疑 それは、注射器によって、5回分または6回分になるという理解でよいか。
- 応 答 御認識のとおりである。
- 質 疑 接種したあとの待機時間等について留意点等はあるか。
- 応 答 基本的には接種した部屋で15分、過去にアナフィラキシーショック等のアレルギー症状を経験したことがある人は30分の待機としている。万が一のことが起きたときのために、接種部屋内には救急カートを配備するとともに、その際に対応にあたる看護師を待機させている。
- 質 疑 1回目の接種を終えた人が異動や退職等の理由で2回目の接種を当院で受けられなくなった場合は、2回目の接種はどのように受けることになるか。
- 応 答 接種証明書を発行しているので、それを新しい接種場所に提示してもらえれば打てるはずである。
- 質 疑 冷凍で配送されたワクチンは、解凍後大体どのくらい品質を保持できるのか。
- 応 答 約6時間から8時間と言われており、解凍にも一定の時間が必要である。
- 質 疑 接種の打ち手については、医師以外も可能か。
- 応 答 接種については、看護師も扱えるが、問診については医師に限定せざるを得ない。
- 質 疑 1日当たりに接種できる人数をワクチンの接種回数分にまで増やすことはできないか。
- 応 答 接種場所の問題で、受付に並ぶ際や接種後の待機時間の密も避けなければならず、ワクチンの接種回数分にまで増やすことは現状難しい。

(※ 上記以外の質疑についても、視察中に随時行われた。)

現地調査に先立ち、ワクチン接種の取組について説明を受ける様子



#### (4) 調査結果

県民向け接種に先立ち実施されている医療従事者等向けワクチン接種では、接種自体は整然と行われていることが確認できた。しかしながら、現地では、実際の接種のほかにも、接種前の受付、接種後の待機において密を避ける必要があり、その場所の確保や接種対象者一人一人のスケジュール調整に苦慮していることがうかがえた。今後、県民向けの接種方法として、集団接種を選択する自治体も多いと予想されることから、接種場所の確保についても課題が出てくると思料される。

以上のように、昭和大学横浜市北部病院における医療従事者等向けワクチン接種会場を調査したことにより、本県の新型コロナウイルス感染症対策の状況や今後の施策等を調査する上で、参考に資することができた。

<参 考>

- 1 随 行 者 結 束 主 任 主 事 (議 会 局 議 事 課)、鈴 木 副 主 幹 (健 康 医 療 局 医 療 危 機 対 策 本 部 室)、堤 主 任 主 事 (産 業 労 働 局 総 務 室)
  
- 2 調 査 箇 所 側 出 席 者  
昭 和 大 学 横 浜 市 北 部 病 院  
病 院 長、ク オ リ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト 課 長  
篠 原 医 療 危 機 対 策 本 部 室 長、市 川 ワ ク チ ン 接 種 担 当 課 長